

いきいき弥小っ子



2学期始業、全員そろってスタート！

弥彦小学校 校長 石黒 和仁

長い梅雨が明けた後は、今年も、全国的に猛暑が続いた夏休みとなりました。そのため、燈籠まつりでの燈籠押しや地区プール開放、5年野外教室、6年中学体験入学、部活動などにおいて、皆様にはご心配をおかけしました。おかげさまで大きな事故やケガ、病気なく、2学期を迎えることができました。

始業式では次のように話をしました。

7月24日、1学期終業式では、「2学期始業式に、みんなで、元気に会いましょう」と言いました。そして、今日、元気なみなさんに会えました。ありがとう。うれしいです。

どんな夏休みでしたか。夏休みだからできること、夏休みしかできないこと、一人1チャレンジできましたか。

「早寝・早起き・朝ご飯、あいさつ（誰にでも、自分から）、命（飛び出さない、ルールを守る）、ゲームはほどほどに（ルールを決めて）」は守れましたか。2学期も大事にしてください。

2学期は、弥彦山登山、マラソン大会、50周年記念式典・文化祭、引っ越し作業（校舎改築工事）などがあります。授業（学習）は、毎日続きます。6年生を中心に、友達といっしょに、なかよく、楽しく、高め合って、頑張ってください。

高め合うとなると、争いやけんかが起こるかもしれません。それでもいいです。とても大事なことです。でも、必ず、仲直りをしてください。いじめはだめです。とにかく、元気で過ごしてください。

始業式当日、**今年初めての欠席者0!**でした。全校児童が、明るく、元気に登校してくれました。学校にとって、何よりもうれしいことです。職員みんなで喜びました。もちろん、中には不安な気持ちで登校してきた子どももいたと思います。一人一人を確実に見とり、対応していくことを職員と確認しました。



代表児童による夏休みの思い出
と2学期のめあて発表

成すこと(体験)によって学ぶ、他との関わりの中で成長する～トラブル再考～

自己もしくは集団で選択、決定していく場を大事にしていくことも確認しました。子どもは成すこと(体験)によって学びます。また、他との関わりの中で成長します。2学期も多様な行事や活動を行います。その過程で、例えば、トラブルは避けては通れません。トラブルを起こさないことも大事ですが、トラブルが起きた時にどうするのか、どう解決していくか。その力を身に付けさせたいと思います。当事者に早急に謝らせて終わるなど、教師(大人)主導の指導ではなく、子どもたちが話し合い、考え、よりよい行動ができるような指導を行っていきます。

健康委員会、レストラン委員会は、給食後の混雑等をどう解決するか話し合い、実行してくれました。50周年記念式典での発表(呼びかけ)は、全校なかよし委員会に任せました。よりよいものを目指して知恵を出し合っています。授業では、ペアやグループ、全体での話し合い活動を多く取り入れていきます。指導しやすい一斉指導ではなく、もめたり騒がしくなったりするような場をあえてつくるとも言えます。

こういったことが「高め合う」ことになり、教育目標である「主体的・創造的に生きる子どもの育成」、村が目指す「かかわる」「粘り強さ」「振り返る」「課題解決する」力の育成につながります。容易ではありませんが、取り組んでいきます。ご理解、ご協力をお願いいたします。

***委員会：5、6年生が学校内の仕事を分担し、実践する。全校なかよし、弥小イベント、弥小広報、クリーン・ボランティア、レストラン、健康、体育、図書、自然、にっこりHAPPY!の計10委員会。**

「かかわる」なかよし活動



8月29日、ペア学年によるなかよし活動(異学年交流)を行いました。なかよしグループ(班)のメンバーで、何をして遊ぶか考え、楽しく遊べます。

***ペア学年：1年と6年、2年と4年、3年と5年。各グループ4～6人。**

弥彦山登山では、なかよしグループで登ります。助け合い、励まし合うことが不可欠です。どんな「かかわる」姿が見られるのか、楽しみです。